

鹿島町片句)の新規制基準適合性審査申請に関し、28日の県議会総務委員会(池田一委員長、9人)で、委員から容認を判断した根拠を溝口善兵衛知事が明確にしていないとの批判が上がった。

総務委員会は審査申請を認める一方、関係自治体の意見を聞いて判断すると繰り返す知事の姿勢に反発し、意見表明時に知事自らが判断に至った論拠や考えを県民に分かりやすく示すよう異例の注文をした経緯がある。

今月7日に関係自治体の容認と国の見解を根拠に審

査申請を認める考えを示した知事に対し、共産党の大國陽介委員は「(原発から30キロ圏内の)周辺自治体に判断を任せているように見える。人任せの判断だ」と批判。民主県民クラブの須山隆委員は「県が考えを示すことが大前提。しっかりと言わなければ(稼働に関する)結論は出ない」と指摘した。

これに対し、県防災部の山口和志部長は「総合的に判断した。(審査後の議論後に)改めて県の見解を示す」と述べるにとどめた。

(多賀芳文)

2018.8.29 山形県新聞

### 溝口知事容認判断 根拠不明確と批判

3号機申請で議会総務委

島根県が容認した中国電

力島根原発3号機(松江市